

2020年3月に採取した試料について、放射性物質測定を行いました。

方法：弊社のクリーンルーム空調フィルタを3カ所測定し、最高値を示す1カ所分を報告しております。(2015年より)

結果：洗浄水・空調フィルタについて放射性物質の検出はありませんでした。
下記の通り、製品への影響はないと認識しています。

放射能分析結果(2020年3月分)

検体	測定項目				放射線
	放射性ヨウ素	放射性セシウム			
	I-131	Cs-134	Cs-137	Cs-136	
単位	Bq/kg(L)	Bq/kg(L)	Bq/kg(L)	Bq/kg(L)	μSv/h
水道水	ND ^{*1}	ND ^{*1}	ND ^{*1}	-	-
空調フィルタ(埼玉工場)	ND ^{*2} (検出限度:17)	ND ^{*2} (検出限度:14)	ND ^{*2} (検出限度:20)	ND ^{*2} (検出限度:13)	-

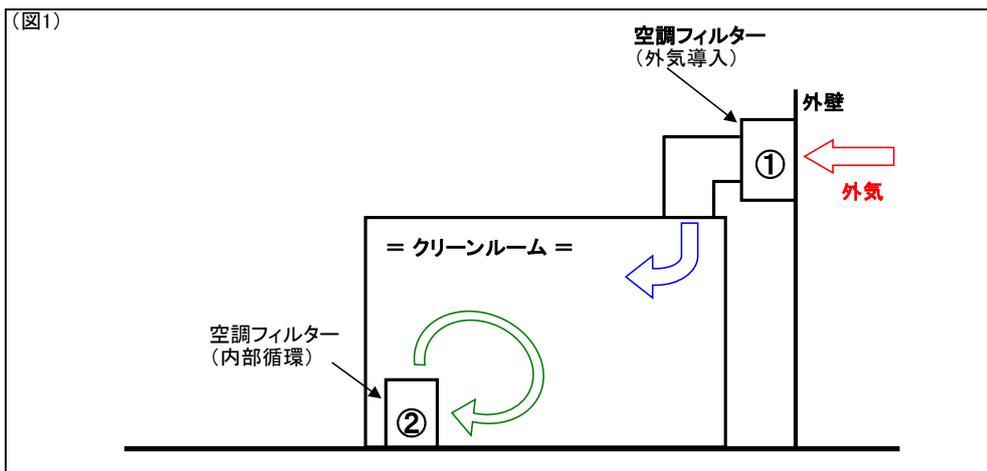
*1) 庄和浄水場の水道水(浄水場出口の水):自治体HPより(期間:2020/3/4~2020/3/25)
検出限度:概ね0.5Bq/kg

*2) 検出限度以下

今回の測定は空調フィルタ(外気導入)(図1-①)の測定であり、放射性物質の検出はあるものここ数年は低い値で安定しております。(表1『放射性セシウム検出推移』参照)。

測定個所の弊社周辺環境における大気中の放射線量は、強風などの天候により一時的な変化はありますが、問題となる数値に至るまでの増加はございません。従いまして、クリーンルーム内環境、製品への影響はないと認識しております。

我々の調査において、外気導入フィルタ(図1-①)にて放射性物質は大部分が除去されることが確認されており、また外気導入フィルタ(図1-①)を通過した放射性物質は、内部循環フィルタ(図1-②)にてさらに除去されることが確認されております。(2011年7月調査)



(表1)放射性セシウム検出推移

測定時期		Cs-134	Cs-137
2011年	5月	250,000	270,000
2012年	1月	2,100	2,700
	7月	500	740
2013年	1月	140	290
	7月	83	190
2014年	1月	62	170
	7月	130	340
2015年	2月	54	180
	8月	22	91
2016年	1月	ND	36
	4月	15	79
	9月	ND	45
2017年	1月	ND	47
	3月	11	55
	7月	ND	ND
	9月	9	74
2018年	1月	33	360
	3月	ND	56
	7月	ND	ND
	9月	ND	57
2019年	1月	ND	62
	3月	ND	58
	7月	ND	100
	9月	ND	27
2020年	1月	ND	51
	3月	ND	ND

(Bq/kg)